

★「誤審」のアメリカ敗退！

― イラク戦争三年、平和は来たか ―

◆世界ベースボールクラシック(WBC)で、王・ジャパン優勝！日本中が歓喜に包まれました。
いったんは、帰り支度までしていた日本チームの起死回生の粘りと勝利は、大きな感動と、最後まで望みを棄てない姿のすばらしさを私たちにプレゼントしてくれました。

◆一方、三二名中二二名の審判員を自国の審判員で占め、自国の試合に自国の主審を出し、二つの大誤審をしてまで、勝敗にこだわったアメリカは敗退しました。

★「誤審」は野球だけではありませんでした

◆「イラク戦争のおかげで、世界はより平和になった」
イラク戦争から三年目の三月二〇日、アメリカのブッシュ大統領は、演説でこう語りました。
みなさん、ほんとうにそう思いますか？ほんとうにそう感じますか？
あの戦争で、十数万人のイラク市民の命が奪われ、アメリカの兵士も二千三百人以上亡くなり、イラクはいま出口の見えない泥沼状態です。世界各地のテロもなくなっていないません。これで世界は平和になったと、どうして言えるのでしょうか？

◆実はこの戦争は、アメリカの大「誤審」から始まりました。「イラクに大量破壊兵器がある」と言って、国連の承認もないまま攻めてゆきましたが、大量破壊兵器は最初から存在していなかったのです。
◆「誤審」の原因は、「武力」で平和は来る、という思いあがりでした。

★日本国憲法に「誤審」はありません

◆戦後私たちは、「武力」で平和は来る、という判断は間違っていたと知りました。
我が日本国憲法が言っているのはこのことなのです。

◆この基本(日本国憲法)ルールに立つ限り、国際政治の場面に誤審はありません。
野球の誤審は勝敗に関わってきますが、国際政治での誤審は、人の命に関わってくるのです。現憲法を変えてしまうと、誤審の可能性は限りなく高まります。
人類の誤審をしないよう、現在の憲法を特に第九条を是非とも守り抜きましょう！

二〇〇六年四月九日(日) 第四七十回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―一五

★月例護憲デモ 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合